

古代学学術研究センター・研究会
古代を見なおす

日時：10月14日（木）16:00～18:00

会場：奈良女子大学F棟2階

生活環境学部中会議室 学務課前の廊下を北へ

報告：奈良時代の資財帳と仏教政策

—天平十九年帳を中心に—

中川 由莉（人間文化研究科比較文化学専攻）

私たちは、現在〈古代〉と呼ばれている時代についての研究を深めること、〈古代〉概念そのものに考察の光を当てることなどを通して、自らが冠する〈古代〉の問いなおしを進めています。今回は以下のような観点から「奈良時代」が見なおされます。

寺院には、資財帳という寺院ごとの什宝物や寺領などを記した資財目録が存在する。資財帳には、掲出した資財の来歴やそれ以前の資財帳との変更点など各寺院の資財目録以外にも重要な情報が記述されている。特に、天平十九年に作成された資財帳は、まとまった形で残る貴重な史料である。加えて、律令政府の指示により作成された資財帳であることも見逃せない。

そこで、本報告では、天平十九年帳を中心に資財帳の果たした役割と資財帳が奈良時代の仏教政策の中でどういった位置づけをなされていたのか、検討を行いたい。

事前の申し込みは不要です。ふるってご参加ください。

問い合わせ先：奈良女子大学 舘野和己研究室（0742-20-3307）